

豊庄だより



第 680 号 2021 年 10 月 4 日

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

行事を迎える時（特に屋外）、天気のことを心配になります。とりわけ秋に実施する運動会は台風の季節とも重なり、9月になると、天気予報で毎日南の海上の様子から目が離せません。加えて今年も「コロナ禍の中での開催」となり、2年連続の心配の材料でした。しかも、緊急事態宣言が運動会開催の直前まで延長され、もしかすると9月30日に解除されても、引き続きまん延防止対策が発令されることになりはしないか、そうなった時、8月末に出していた「運動会の実施方法について」は、そのままでもいいのか等々、悩ましい課題が続きました。そうした中、子どもたちの練習は日を追うごとに熱を帯び、先生と子どもたちが一体になって取り組む姿が、見られました。「何とかしたい」という思いで、何回も職員で安全安心な（どこかで聞いた言葉ですが）運動会の開催をするため、話し合いを重ねました。そして、10月2日を迎えました。罪のない遊びとはいえ、「晴れ男」「晴れ女」という科学的根拠のないことには頼らず、急激な感染者の減少により（この要因については諸説ありそうですが、この話題はまたの機会にします）、当初の計画通りに実施できたことは本当に良かったと思っています。

「ともに輝け！！みんなの笑顔が金メダル☆」。今年の運動会のテーマです。

もも組からひまわり組まで、すべての園児たちが参加する運動会にするため、昨年へ続き、クラス入れ替え制としました。クラスによってはプログラムが30分近く続くことになり、子どもたちには少し負担がかかったと思いますが、最後までとても頑張ってくれました。



今年は昨年より少しだけですが、プログラムを増やすことにしました。それは、「体操教室」です。昨年は、コロナ禍1年目で、4、5月は登園の自粛（体操教室も休講）、6月以降園児は増えてきましたが、再開した「体操教室」での園児の体の動きは例年とは相当な開きがあり、運動会での実施を見送りました。今年は、4月から毎週水曜日、講師の山元先生のご指導の下、体作りにとりくんできました。子どもたちの動きは昨年とは違いました。運動会で発表した内容自体は、8月中旬から練習を始めたのですが、4月からの取り組みがあってこそその成果であることを実感しました。しかし、これだけ頑張っているのに、もしも10月2日が「宣言」の再延長や天候によって実施できなくなったりしたら、どうしようという不安が起きました。「発表の場を作りたい」という思いは職員みんなの気持ちでした。「その時は、全員に観ていただくことはかなわないかもしれないけど、次の週の「体操教室」を保育参観という形にして、見ていただく、いや見ていただきたい」という結論に達しました。結果は杞憂に終わり、ほっとしています。

最後に、写真について一言。ひまわり組最後の種目、遊戯「青と夏」のラストの1枚です。練習の時から、この瞬間の表情がとてもいいと思い、シャッターを切り続けましたが、逆光のためうまく撮れず、本番ではストロボを使用しました。明るくは撮れましたが、全員の顔は捉えることはできていません。ご勘弁を。